



ぴっかぴかの1年生！

小中学校入学式

桜の花が咲きそろい陽春に包まれた4月7日(月)、市内小中学校で入学式が行われ、小学生456人、中学生546人が新たな生活をスタートさせました。

野々市小学校では129人の新1年生が少し緊張した様子で入場し、古村充校長からの「あいさつ・ありがとう・あんぜんの三つの“あ”を大切に過ごしてください」という言葉に、元気よく「はい！」と返事をしていました。ワクワクとドキドキで満たされた入学式。新1年生の楽しい学校生活がいよいよ始まります。

春を感じる親子のお散歩時間

センス・オブ・ワンダー「春のお散歩」

4月8日(火)、子育て支援センター和光でセンス・オブ・ワンダー「春のお散歩」が行われました。センス・オブ・ワンダーとは、自然や身の回りの物に神秘さや不思議さを感じ、驚きや感動を覚える感性のことです。この日は、子育て支援センター和光から扇が丘ホタルの里公園までの道のりを10組の親子が約10分かけて歩きました。公園に到着すると親子で満開の桜や小川を眺めたり風になびくおもちゃで遊んだり、自然を感じる楽しさを味わっていました。



小川に足をそっと入れて、にっこり。



ピンは倒した後、その場に立て直すので徐々に間隔が広がります。

狙いを定めて50点を目指せ！

モルック体験会・ミニ大会

市ではスポーツ推進委員が講師となり、ニュースポーツの体験会を開催しています。4月12日(土)の体験目種はモルック。木製の棒（モルック）を投げて数字が書かれたピン（スキットル）を倒すフィンランド発祥のスポーツで、ちょうど50点になったチームが勝利となります。講師の手本を見て練習後、チームに分かれてミニ大会を実施。白熱した対決を終えた参加者からは「初めてだけど楽しかった！」「体も頭も使って良いリフレッシュになる」との声が聞かれました。

守ろう、自分とみんなの命

高齢者ドライビングスクール

4月14日(月)、北鉄自動車学校で高齢者ドライビングスクールが開催され、65歳以上の市民35人が参加しました。講義では「正確に運転する」「合図を30m手前で3秒以上出す」「確認する方向に顔を向ける」「一時停止では停止線の手前で確実に止まる」などの基本走行を行う際の注意点を確認。実技講習ではコースを回しながら安全運転ができているかどうかを確認しました。参加者は、指導員からのアドバイスを受け、自身の運転を見直す良い機会としていました。



北鉄自動車学校の指導員による講習を真剣に聞く参加者の皆さん。

Fまちの話題 OCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

アウトドア×防災＝野あそび？！

野あそびマルシェ

3月22日(土)、23日(日)に学びの杜のいちカレードで野あそびマルシェが開催されました。憩いの広場やその周辺には、キッチンカーや飲食店、物販、ワークショップなど、各日約30のブースが立ち並び、多くの人にぎわいました。また、レジャーシートの貸し出しも行っており、芝生の上でゆっくり過ごす人もちらほら。「良い天気でよかったね」と話しながら、春の陽気とグルメを堪能しました。

金沢工業大学 防災・減災プロジェクトSoRAのブースでは、防災についてのパネル展示と、災害時などに活躍するホイッスルを牛乳パックで作る体験が行われました。また、図書館内には防災スタンプラリーや防災関連図書の展示コーナーを設置。来場者は、野あそびを楽しみながら、防災についての学びを深めていました。



①ボーイスカウトによる、まき割り体験。②芝生でモルック。よく狙って投げます。③テントの中でのおはなし会は何だかワクワク。④外で食べるのにぴったりのメニューが多く並びました。⑤手作りのホイッスル。うまく音が出るかな？⑥穏やかな気持ちのいい気候でした。

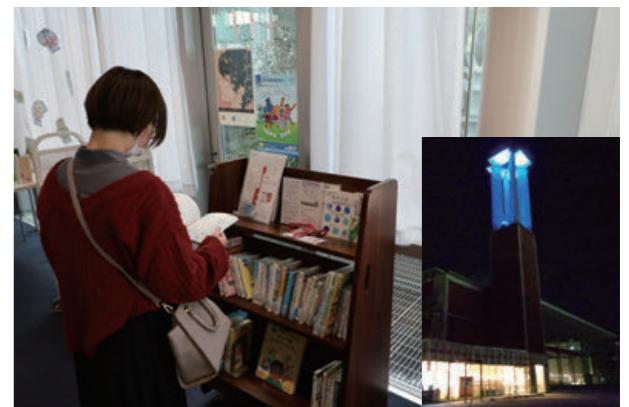


市内の地域特産物マイスター認定は第1号！

蜂蜜で北陸初認定の快挙！

しづく工房 地域特産物マイスター認定報告

地域特産物マイスターは、地域特産物の生産・加工などの分野で卓越した技術や能力を持つ人材を、(公財)日本特産農産物協会が認定する制度です。令和6年度認定として、しづく工房代表の餅木幸美氏が選ばれ、3月24日(月)、同氏が栗貴章市長に認定報告を行いました。認定品目は一つの花から蜂蜜を作る「石川県の单花蜜」。花蜜が混ざらないように採取する技術などが評価されたとのこと。認定を受け、餅木氏は「蜜蜂が環境指標生物である側面も周知したい」と今後の展望を明かしました。



市役所もテーマカラーの「ブルー」にライトアップされました。

みんなが生活しやすい社会に

発達障害啓発週間

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。それに合わせて日本では、4月2日から8日を「発達障害啓発週間」としています。学びの杜のいちカレードでは、発達障害啓発週間に合わせて啓発図書紹介コーナーが設置されました。コーナーには、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)などに関する書籍や、当事者・家族の体験記、支援のあり方を紹介する資料などが並べられ、来館者が足を止め、興味を示す様子がうかがえました。